

全国保健所長会研修会  
「これからの保健所の形と機能」

# 西日本豪雨災害とDHEAT活動 ～リーダー（保健所長）の役割について

平成31年1月29日  
長崎県 県南保健所長 宗 陽子

## リーダー（保健所長）の役割

1. DHEAT体制整備
  - ①DHEAT研修・訓練・登録
  - ②地域災害医療コーディネーター
  - ③九州各県との情報交換
2. 派遣依頼から決定まで
3. 実際の活動におけるリーダーの役割

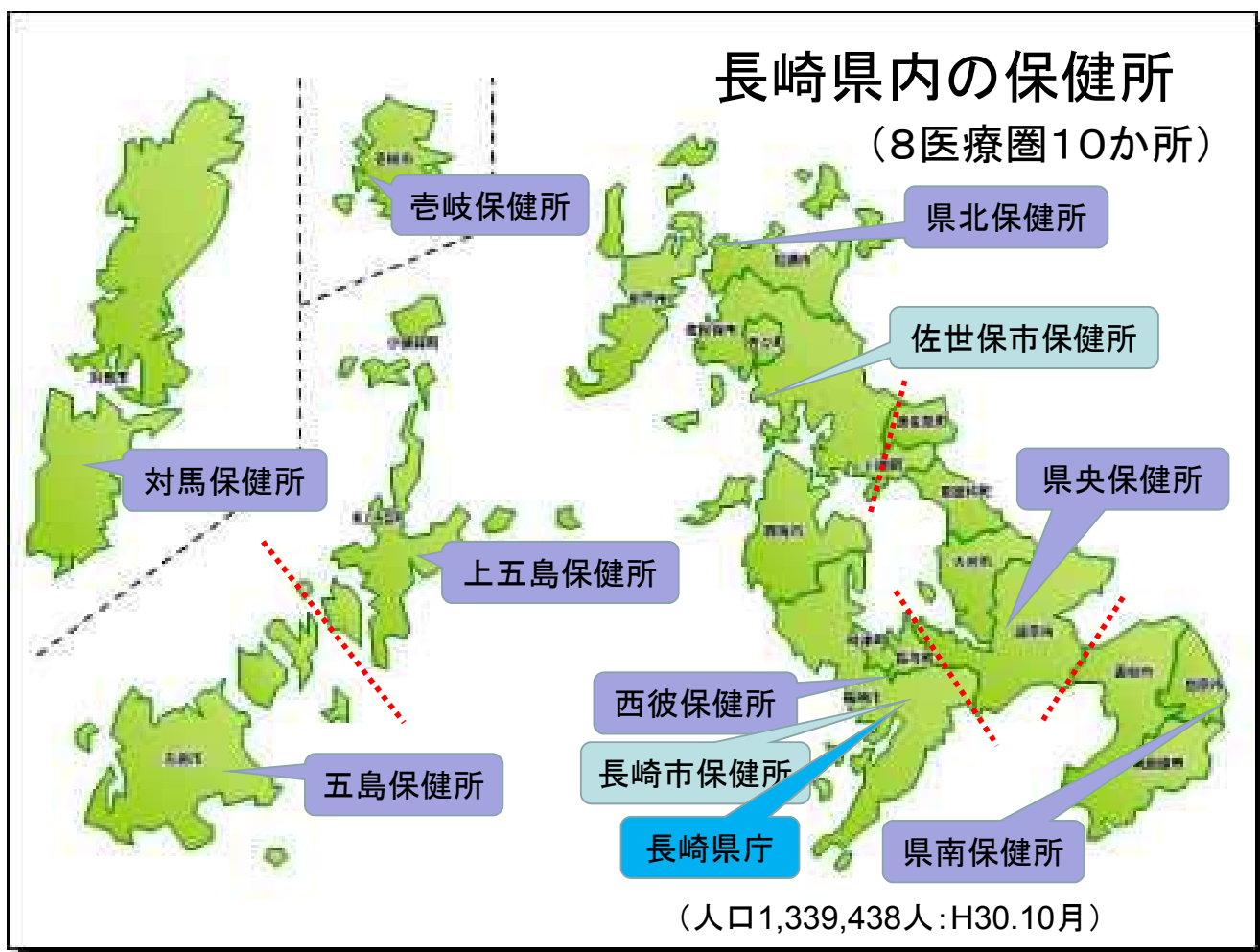
# 長崎県におけるDHEAT登録者数

	医師	保健師	薬剤師	栄養士	放射線技師	事務	※1 その他	合計
H27	8	18	2	1	3	6	4	42
H28	5	29	6	3	3	3	6	55
H29	5	42	10	5	7	5	18	92
H30	5	60	11	8	8	9	22	※2 123

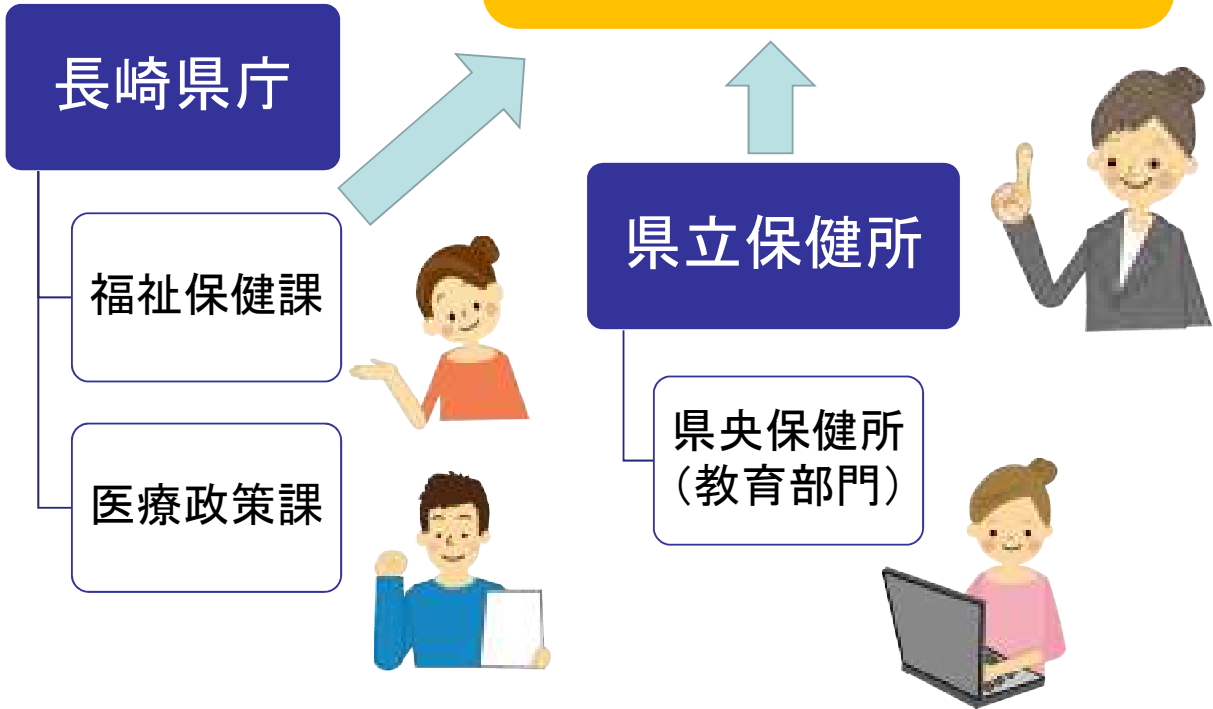
(平成30年9月12日現在)

※1 その他の職種は、獣医師、臨床検査技師、社会福祉職、作業療法士、言語聴覚士、化学、環境科学職

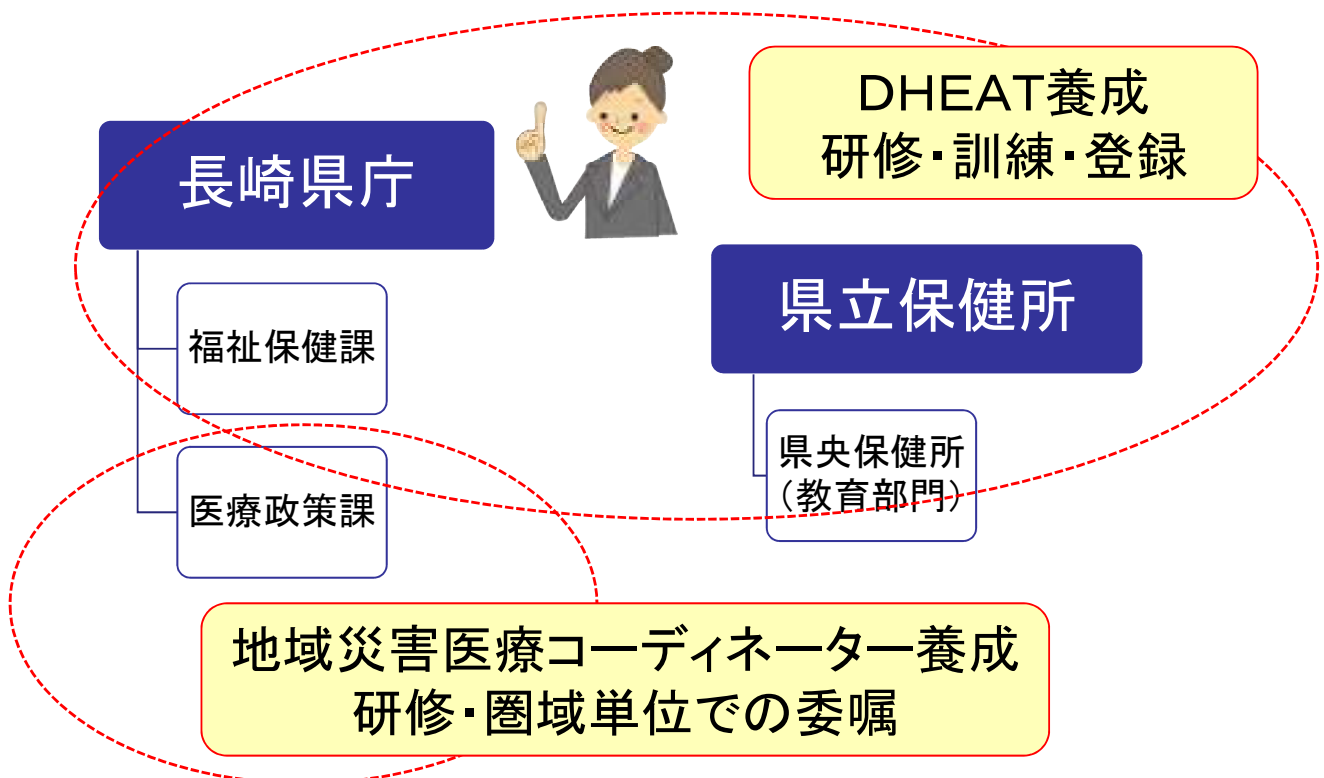
※2 保健所職員117名、県庁職員6名



保健福祉医療施策検討会  
(毎月1回:TV会議)



保健福祉医療施策検討会  
(毎月1回:TV会議)



# 九州各県との情報交換

- ・保健所連携推進会議(九州ブロック)  
災害時健康危機管理支援チーム養成研修(基礎編)

H28	6名	医師、薬剤師、保健師、放射線技師、栄養士、一般事務
H29	6名	医師、薬剤師、保健師、放射線技師、栄養士、一般事務
H30	10名	医師、薬剤師、保健師、一般事務

- ・保健所長有志によるDHEAT合宿

H28	奥阿蘇産山合宿
H30	天草合宿



## 長崎県からDHEAT派遣決定

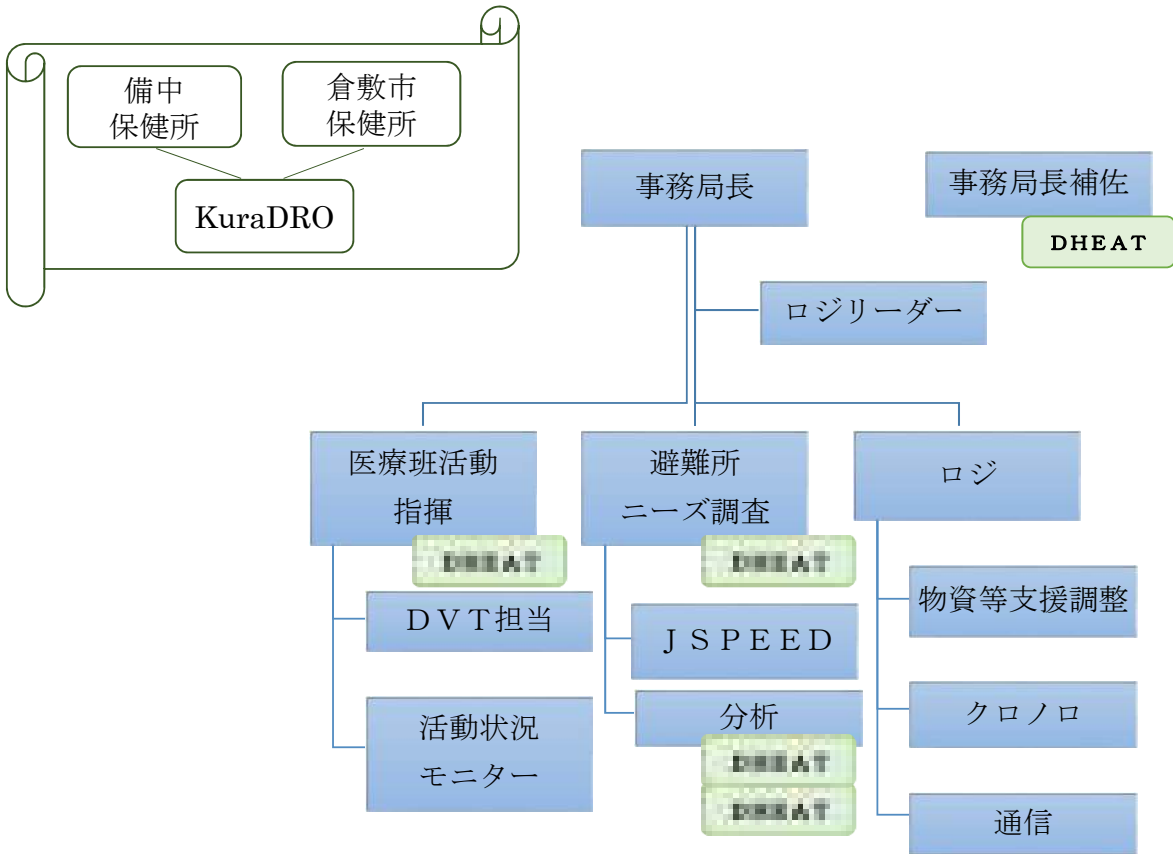
7月9日

岡山県よりDHEAT派遣要請があり  
厚生労働省から全国へ照会

第1班	7月11日(水)～18日(水)
第2班	7月18日(水)～24日(火)
第3班	7月24日(火)～31日(火)

医師、保健師、栄養士、薬剤師、ロジの5名での班編成

# KuraDRO (倉敷地域災害保健復興連絡会議) の組織体制



医療		保健	
地域医療の復旧	避難所		在宅避難者
	診療	保健	
県庁 県型保健所 医師会	地元 医療機関	市型保健所	
		市町村	← 支援 県型保健所



## ☆ 情報を共有する

- 1 医療救護班と保健師チームの**避難所日報**情報を集約
- 2 備中保健所と倉敷市保健所\*がそれぞれ作成している**中長期的分析結果**をまとめた一覧表を共有
- 3 保健師リーダーMTで日報情報を共有(DHEATが主催)  
保健師MTにはKuraDROからも参加し情報共有

\*倉敷市保健所では、神戸市保健師チームに避難所情報の分析を依頼されていた。

## ☆ 課題を解決する

- 1 避難所日報からの**課題**を抽出(時点)
- 2 分析結果による動向から**課題**を抽出(中長期的)
- 3 **課題**が解決されたか確認し、対応の要否と解決の進捗を医療救護班と保健師チームで共有する

## 医療に関する課題

医療救護班の**配置**(本部、避難所、活動拠点など)

**夜間診療**についての検討

AMATによる**緊急搬送**協力体制の構築

**災害処方箋**の運用(モバイルファーマシーの活用)

**AED**の分配

**JSPEED**、EMISの分析、情報共有方法

被災**医療機関復旧**に向けての調整

福祉避難所の不足

→ 病床(療養、地域包括ケア)や施設の空床確保

# 保健に関する課題

## 熱中症の増加

→ ボランティアセンターでの啓発、OS1の分配

## 結膜炎、皮膚炎の増加

→ 消石灰による消毒の見直し

## ストレスの増加

→ メンタルヘルス対応(DPATと日赤チームとの調整)

## DVT対策

→ 避難所巡回診療、弾性ストッキングの配布

## ICT巡回

→ JSPEEDから疑わしい症例が出れば迅速に対応

## 瓦礫の撤去など作業による擦過傷

→ 破傷風ワクチン接種の調整

## 在宅避難者への支援

～在宅における災害関連死を予防する～

- ・倉敷市保健所保健師は、7月13日より在宅避難者への全戸訪問を開始
- ・要援護者台帳をもとに訪問活動  
訪問対象者の抽出方法、様式を検討



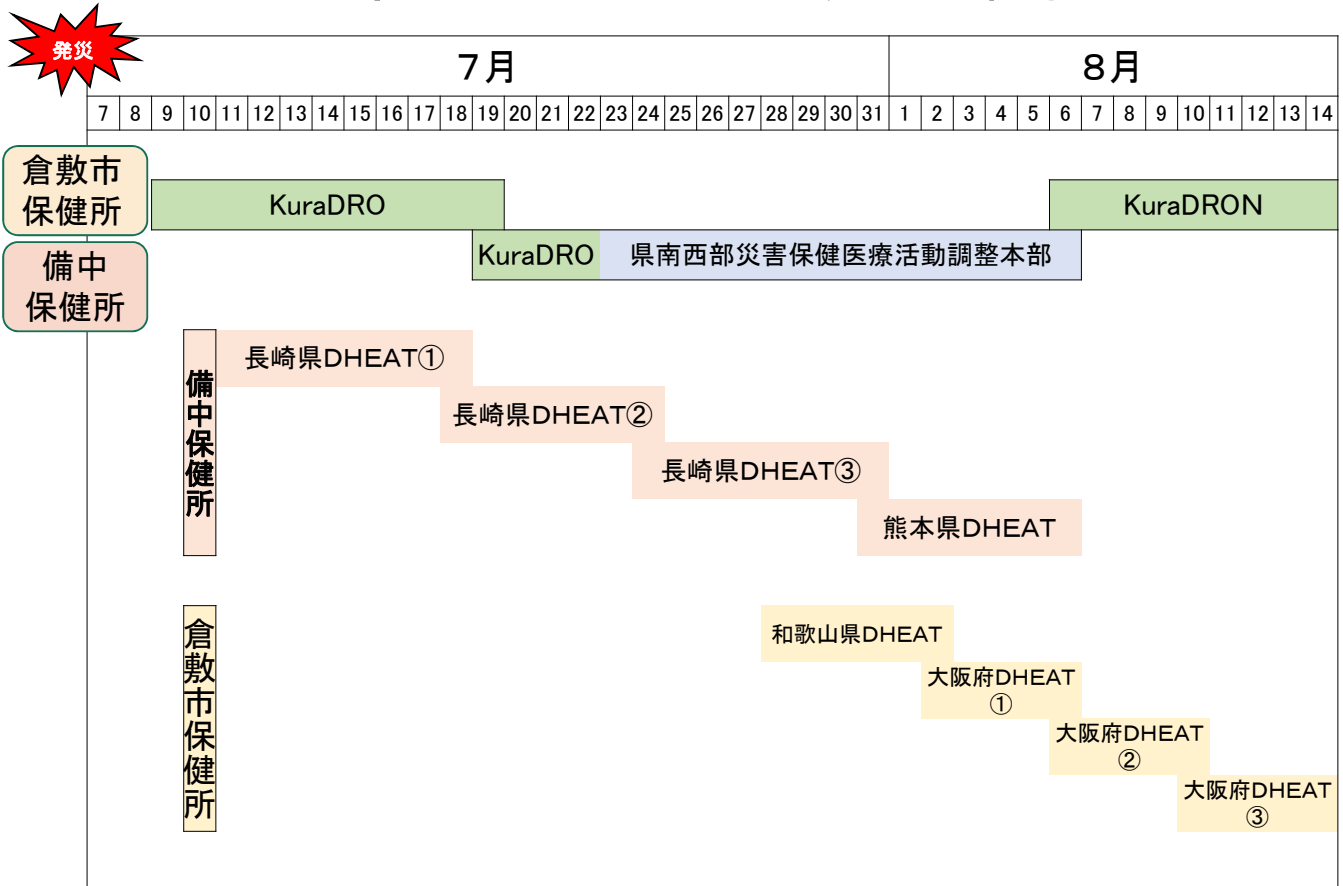
岡山県ケアマネ協会  
居宅介護事業所

問題	支援者	所属等
診療	医師会	医師会 医療機関
	DMAT、JMAT、日本赤十字社、AMAT、AMDA、TMAT、HuMA/PWJ	
義歯の喪失、口腔ケア	歯科医師会、歯科衛生士会	
薬剤処方	薬剤師会	
看護	災害支援ナース、キャンナス	看護協会等
食事状況	JDA-DAT	栄養士会
精神疾患 メンタルヘルス不調	DPAT 日赤こころのケア	精神科医等

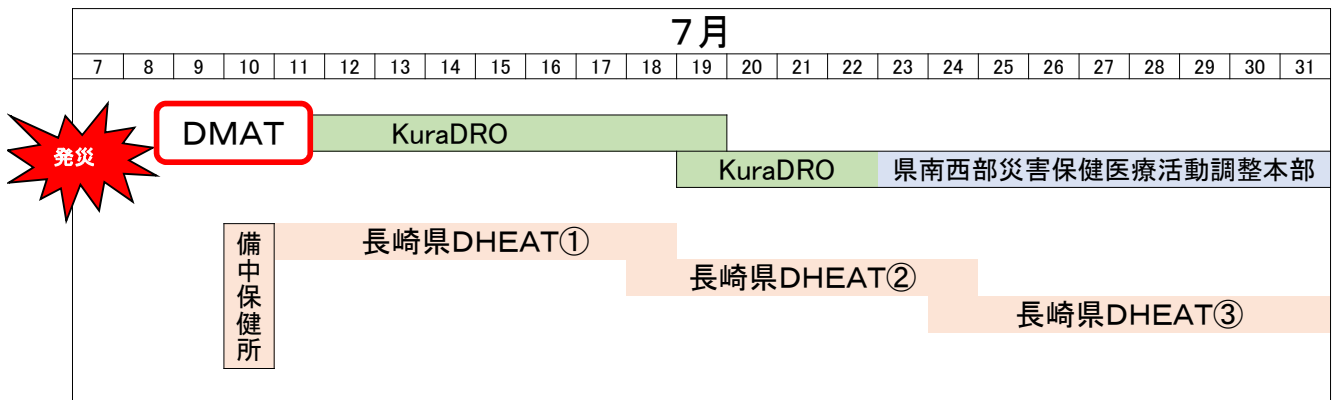
問題	支援者	所属等
身体障害、義肢や装具	JRAT	理学療法士協会 作業療法士協会 言語聴覚士協会等
生活不活発病		
視覚障害	DWAT	社会福祉協議会等
聴覚障害		
要介護認定、認知症症状など		
DVT	上村先生	川崎医科大学 循環器内科
ICT	上山先生	倉敷中央病院 感染症内科
妊婦、新生児、乳児、小児	小児周産期リエゾン	救急、産科、小児科
ペット	VMAT	獣医師会



# 岡山県でのDHEAT活動の全体像

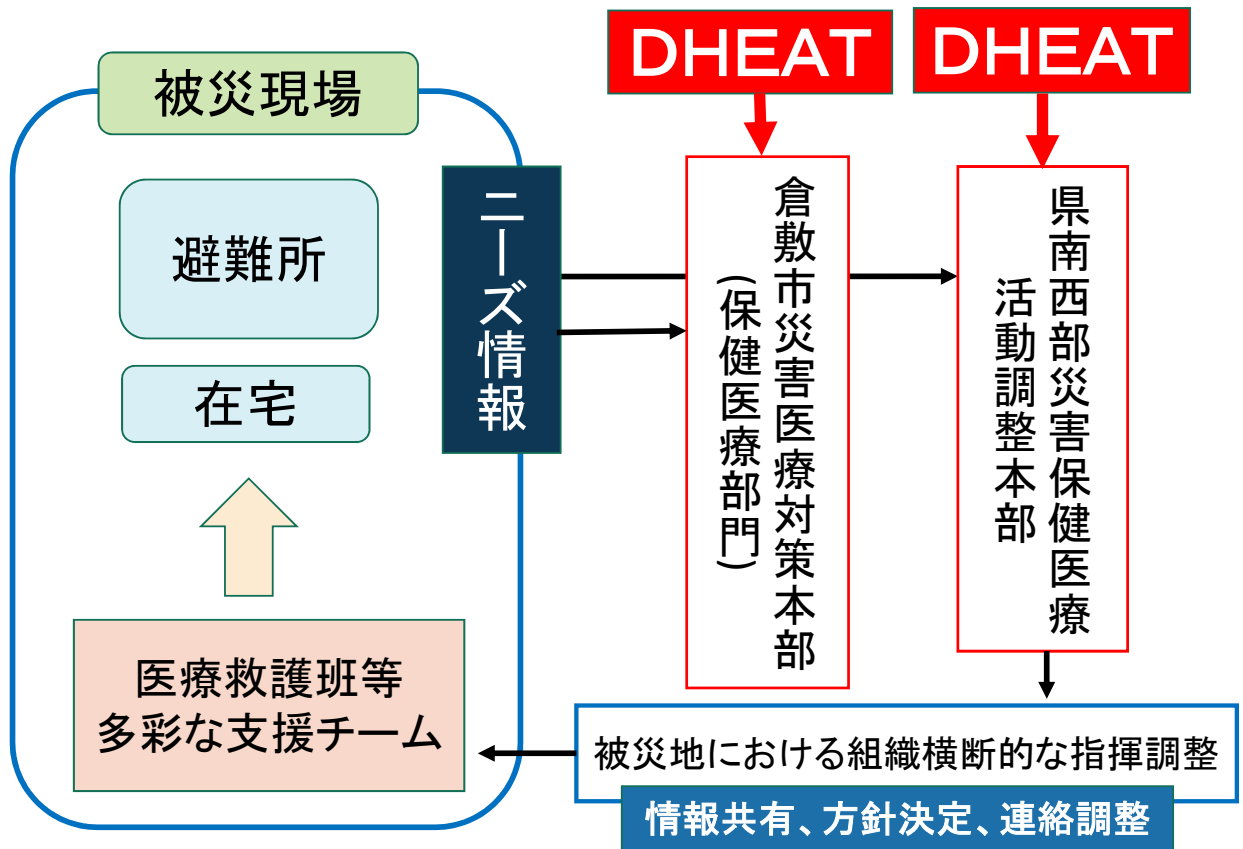


## 長崎県の活動における方向性の判断



- |    |   |
|----|---|
| 1班 | DMATロジ機能を地元保健所へ引き継ぐために、KuraDROで医療、保健それぞれのチームの情報を共有し整理 |
| 2班 | KuraDROの活動を備中保健所の活動調整本部に円滑に移行できるよう本部機能を調整             |
| 3班 | 医療救護班の撤退後に、活動調整本部で地域の保健医療ニーズに対応できるよう体制を整備             |

# フェーズに合わせた指揮調整への支援



# 災害時保健医療ニーズと活動の経時変化

